

インド国 ナarendra・モディ首相からのメッセージ

ラージギル・ブッダ・ビハール・ソサエティにより王舎城世界平和
仏舎利塔五十周年記念の小冊子を発刊されたことは喜ばしいこと
です。

ゴウタマ・ブッダの生涯は奉仕と慈悲の力を証明するものでした、
そして一番重要な教えが「執着から離れよ」だと思います。この教
えは現代社会でも万能薬であり、人間が平和と調和の内に生きる上
で、考え方の源泉となるものです。

三つの言葉からなるアッパ・ディーポ・バーヴァ、「自らを灯明とせ
よ」はゴウタマ・ブッダが人類に与えた素晴らしい教訓であります。
ゴウタマ・ブッダを悩ますものは殆どありませんが、あるとすれば
人間の無知に起因する、思慮の欠けた争いがあります。「非暴力」は
ゴウタマ・ブッダの世界観の中で不可欠な要素です。

世界平和仏舎利塔は平和・非暴力・同胞愛といった普遍的な理想の
証明、そしてまた、インドと日本の長年の有効を証明するものでも
あります。インドと日本、二国家間の結束をさらに高め、お互いの
価値観を共有し、世界の平和への未来像を共有していきましょう。

世界平和仏舎利塔五十周年のご成功をお祈り申し上げます。
発刊された小冊子が多くの人に読まれることを望みます。

ナarendra・モディ
ニュー・デリー
2019年10月17日